

毎月 11 日は

防災を**考**える日

令和5年10月号



「キキクルのプッシュ型通知サービス」を活用しよう！

■ キキクルのプッシュ型通知サービスとは？

気象庁では、災害の危険度を「早い段階から」「地域をより絞って」情報を伝えるため、浸水や洪水、土砂災害の危険度を5段階で表示する「キキクル（大雨・洪水警報の危険度分布）」を発表しています。これと併せて、気象庁では民間事業者と連携して、自分が登録した地域がキキクルで危険度が高まった場合や警報等が発表された場合に自動で通知するサービスを提供しています。

何も起きていない平時からプッシュ型通知サービスを登録しておき、いざという時の避難や備えの判断に活用しましょう。

各事業者のサービスの概要や利用方法は、気象庁ホームページで確認ができます。

〔気象庁のページ(キキクル、噴火警報・噴火速報のプッシュ型通知サービスについて)を加工して作成〕

■ 防災基礎クイズ

Q 台風の一生は、大別すると発生期、発達期、最盛期、衰弱期の4つの段階に分けることができます。日本に接近する台風は主に発達期と最盛期のものである。○か×か？

毎月11日は「防災を考える日」です。

震災の教訓や災害への日頃の備えなどについて、家庭や学校、職場、地域などで話し合ってみましょう。

■ 問い合わせ先／市危機管理課 防災安全係 ☎ 22-3402

